

勿来第一中学校だより



く ん ぶ う

薫風



ゆえん  
【校章の所以】

平和の鳩を表すとともに中学の中を表す。また、勿来の関の桜や「勿」のデザインをイメージしている。

発行責任者 校長 丹野 英雄

第14号 令和5年2月21日発行

さる2月4日(土)21世紀の森周辺駅伝コースでいわき市中学校新人駅伝競走大会が行われました。令和2年度から3年度の2年間は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止を余儀なくされましたが、今年度は3年ぶりに開催することができました。朝の冷え込みは厳しかったもののレース直前には陽の光も射し込み澄んだ青空のもと、男子は6区間、女子は5区間で襷をつなぎました。次年度の前哨戦となる大会とあってレースは熾烈を極めました。男女とも優勝という結果をあげることができました。

お互いに切磋琢磨しながらも深い絆で結ばれた部員たち。仲間の思いを託された選手たちは、持てる力を存分に発揮し、若さみなぎる熱いレースを展開しました。駅伝部の部員たちは目標を高く掲げ、前向きに取り組む大切さを勿来一中の全生徒に教えてくれたと思います。ありがとうございます。そして、お疲れさま。

さて、新型コロナウイルス感染防止策を講じながら2月17日(金)の5校時に、3年生だけで卒業式の練習を行いました。入退場・卒業証書授与・式歌を唱う場面など、3年生の真剣な姿が随所に見られました。今後、1・2年生も含めて予行を行ったのち卒業式当日を迎えます。3年生(卒業生)には、自分の成長を振り返り、新たな希望を持つとともに、多くの方への感謝の気持ちをもって卒業式に臨んでほしいと思います。

なお、今年度は保護者の方2名程度まで式場にお入りいただけるように配慮しましたので、感染防止を徹底した上でご臨席ください。1・2年生(在校生)は、昨年度と同様に各教室においてリモート参加とします。卒業式当日は、全校生で一堂に会すことができませんが、在校生には卒業生からしっかりと襷を受け継いでくれるものと確信しています。

男子スタート直後の様子です。このあと、タスキを繋ぎ優勝のゴールテープを切ることができました。



それぞれの思いを託し、次へと襷をつなぐ生徒たち

# 「見守られる側」から「見守る側」へ

子供たちのまわりには、犯罪や交通事故、自然災害など、さまざまな危険が潜んでいます。先月は、市内の複数の小中学校に子供への危害をほのめかす犯行予告のFAXが立て続けに送りつけられるなど、物騒なことがありました。また、声かけ事案なども起きています。そのような危険から子供たちの安全・安心を確保する上で、保護者や地域の皆さんによる日頃からの見守りは大変に心強く、感謝しております。

さて、危険から子供を守るためには、大人が安全・安心な環境を整えることに加え、もうひとつ大切な視点があります。それは「安全教育」です。「安全教育」とは、危険を察知し、回避する力を身に付けるために行う教育です。欧米では、「子供が池に落ちないように柵で囲おう」という発想ではなく、「池に落ちた時でも溺れないように泳ぎを教えよう」という発想をするそうです。生活している以上、危険はつきもの。危険に遭遇した時の対処法を体得しておくことのほうが大事だという教えですね。

親や先生といっても子供一人一人を24時間見守り続けることは不可能です。大人の目が届かない時間帯や場所など、死角や盲点が生まれてしまうからです。そのような場合でも、子供が自分に起こりうる危険を予測し、自らの身を守る術を知っていれば、かなりのリスクを回避できるでしょう。



親が子供の安全・安心を思って、GPS機能付きのスマートフォンを持たせて居場所を確認しようとしていても、子供自身がSNSを介して不審な人物と知り合ってしまったとしたら、何が安全・安心かわかりません。ですから、安全・安心な環境を整えることと併せ、子供たち自身に危険を察知し、回避する力を身に付けさせる必要があるのです。

信号機がある交差点で横断待ちしている時でも、道路間際よりも奥まった場所にいるほうが事故に遭うリスクは格段に減ります。少しでも早く横断したい気持ちはあるでしょうが、「ハンドル操作を間違った車が突っ込んできたら危ないな」と予測する力も持たせたいと思います。中学生は、その判断力や行動力を体得する上での適切な年代ともいえます。



小学生の頃は、大人の人に「見守られる側」であったでしょう。しかし、これからは小さな子供を「見守る側」へと成長が期待されます。安全・安心な暮らしを守るためには、地域ぐるみで、そのような安全教育のサイクルを構築していく必要があると感じています。中学生が、今まで教え導いてもらった知識や行動の仕方を今度は伝える側になるのです。中学校では、自分自身はもちろんのこと周囲の人の安全にも配慮した行動がとれる生徒の育成をこれからも目指していきます。

## 学年末テストを終えて

2月16(木)・17日(金)の両日で、1・2年生の学年末テストを行いました。定期テストは、授業の進め方など教師側の指導の改善点を探るとともに、子供たちが限られた範囲で学習内容がどれくらい身に付いたかを確認する目安にもなります。

現在、解答用紙が返却されていますが、点数で一喜一憂するのではなく、結果から自分の課題を見つけ、解決に向けて学習計画や学習の仕方を改善してほしいと思います。

## 【教育目標】

自ら進んで学習する生徒  
礼儀正しく思いやりのある生徒  
心身共に健康でたくましい生徒



QRコードを読み取ると本校ホームページにつながります。

〒979-0141

福島県いわき市勿来町窪田伊賀屋敷102番地の2  
TEL 0246-64-7221 FAX 0246-64-7264

E-mail : nakoso1-jh@city.iwaki.lg.jp